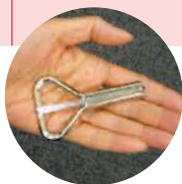


ミュージアムショップ
Museum Shop



口琴を知る！聴く！奏でる！
Jew's Harps CDs Books

アイヌ民族のムックリをはじめとする
ユーラシア各地の口琴やCD、関連書籍等
をご用意しております。
ご来館の際はぜひお立ち寄りください。
口琴および関連グッズの販売は
2010年1月11日まで。Now on Sale!



利用案内 Visitor Information

横浜ユーラシア文化館

Yokohama Museum of EurAsian Cultures

〒231-0021 横浜市中区日本大通12
12 Nihon Odori, Nakaku, Yokohama, Japan 231-0021
Tel.045-663-2424 Fax.045-663-2453
<http://www.eurasia.city.yokohama.jp/>

開館時間 9:30 a.m.～5:00 p.m.
(入館は4:30 p.m.まで)
休館日 毎週月曜日・年末年始ほか
入館料 一般200円
小・中学生100円
企画展開催時には別料金になることが
あります。
毎週土曜日は小・中学生、高校生無料。
「障害者手帳」、横浜市の「濱ともカード」
等をお持ちの方には、入館料の減免制度
がありますのでお尋ねください。

Hours 9:30 a.m. - 5:00 p.m.
(Admission until 4:30 p.m.)

Closed Mondays and year-end/
New Year's recess

Admission ¥200 for adults
¥100 for primary and
junior high school students



Map in English → Website

交通アクセス
みなとみらい線日本大通り駅3番出口から徒歩0分
JR関内駅南口・市営地下鉄関内駅1番出口から徒歩約10分
Zero min. walk from Nihon Odori Sta. on the Minato Mirai Line.
10 min. walk from Kannai Sta. on the JR Line or Municipal
Subway.

お知らせ Information

当館所蔵楔形文字粘土板文書データベースの公開
をはじめました。Database of cuneiform-inscribed clay
tablets in the collection of YMEAC is now available.
<http://www.eurasia.city.yokohama.jp/cuneiform/index.html>

News from EurAsia No.11
横浜ユーラシア文化館ニュース第11号
企画・編集・発行 横浜ユーラシア文化館 2009年11月15日
デザイン/和オフィスエルク
印刷製本/ツルミ印刷株
禁無断転載
©2009 Yokohama Museum of EurAsian Cultures



News from EurAsia

横浜ユーラシア文化館ニュース

■目次 Contents

アートウォッチング p.2
Art Watching
アンフォラ
Amphora
畠山禎 Tei Hatakeyama

コラム p.4
Column
21世紀のシルクロード
The Silk Road in the 21st Century
廣瀬徹也 Tetsuya Hirose

展覧会・イベントのご案内 p.7
Special Exhibitions and Events
特別公開 口琴の広がり
Sound Landscape of EurAsia
福原庸子 Yasuko Fukuhara

ミュージアムショップ p.8
Museum Shop

利用案内 p.8
Visitor Information



no. 11

横浜ユーラシア文化館
Yokohama Museum of EurAsian Cultures

Art Watching

アートウォッチング

アン フォラ Amphora

高さ 130 cm
紀元前1世紀
地中海南フランス沖海底発見
古代オリエント博物館蔵

Height 130 cm
1st century BCE
Mediterranean Sea
Owned by the Ancient Orient Museum



すらりとした器体に二つの把手のついた運搬用の容器です。ワインやオリブオイルなどを運ぶのに使われていたと思われます。一見不安定で使いにくそうですが、細身なので、運搬時には大量に積むことができ、船底などに密に立てて置けば、安定もします。このような形は、3500年ほど前には使用されていたことが知られ、紀元後第2千年紀に入ってもなお、東地中海域で広く使い続けられており、ほっそりとした優美な器形は、実用に基づいたデザインであったことがわかります。

このアンフォラは、南フランス沖で発見されたものです。地中海を行き来していた輸送船が沈没したのでしょう。アンフォラ表面の付着物が、海底で眠っていた2000年近い歳月を偲ばせます。(畠山禎)



Amphorae with two handles and narrow body were suitable for marine transportation. They were used to transport wine, olive oil, and so on around eastern Mediterranean from the mid-2nd millennium BCE to the period of the Byzantine Empire.

This amphora was found in the Mediterranean Sea near Southern France.

(Tei Hatakeyama)



アンフォラの出土状況 (水深33~39 m)
Amphorae were found at a depth of 33-39 m

このアンフォラは、横浜ユーラシア文化館開港150周年記念企画展「EurAsia 3000年海と陸のシルクロード」(2009年9月19日~2010年1月11日)に展示されています。

This amphora is on display for the YMEAC special exhibition "EurAsia: Traces of Cultural Interactions by Land and Sea" (September 19th, 2009 to January 11th, 2010).



21世紀のシルクロード

The Silk Road in the 21st Century

廣瀬徹也 Tetsuya Hirose

1 海の道

かつて香料と陶磁を運ぶイスラーム商人のダウ船と中国人のジャンクでにぎわった海のシルクロード、1869年スエズ運河の開通は欧亜間貿易の飛躍的な増大をもたらしたが、同時に欧州列強によるアジアの植民地化を加速させた。大型商船とタンカーが行き交う現代の海のシルクロードでは、最大の脅威はイスラーム過激派テロ組織と連携する海賊の跋扈である。以前は、マラッカ・シンガポール海峡に海賊が出没していたが、2003年ころを境に、大幅に減少する一方、2005年ころより、ソマリア沖・アデン湾・紅海での海賊事案が急増している。石油、天然ガス需要の8割以上をペルシア湾岸諸国に依存する貿易大国日本にとっては、海の



TRACECAの要衝グルジアのシュワルナゼ元大統領
写真左端は筆者
Georgian ex-president Shevardnadze
The author at the extreme left

シルクロードの安全確保は至上命題である。日本政府は本年3月以降、海賊対策としてインド洋に海上自衛艦を派遣して、公海上の日本関係船舶を護衛させてきたが、現在では他国関係船舶に対しても可能な範囲で保護の手を伸ばしている。この他かねてより「テロとの闘い」で海上阻止活動に参加する諸国艦艇への海上自衛艦の補給支援活動やイラク、アフガニスタン、パキスタンへの復興開発支援を行うことにより国際的責務を果たしてきたことはよく知られている。

2 草原の道とオアシスの道

3000年にわたって、人(民族、軍隊、キャラバン、宗教家、旅人)と物と文化が行き交った草原の道とオアシスの道(絹の道)の国々は、今、国連アジア太平洋経済委員会(ESCAP)の提唱で進められているアジア横断鉄道(TAR)網の中のコーカサスルート、中央アジアルート、カスピ海ルート、バルト海沿岸とペルシア湾沿岸を結ぶ南北回廊の4つで結ばれつつある。EUが支援する欧州・コーカサス・アジアの輸送回廊計画(TRACECA)も進められている。さらにカスピ海地域の石油・天然ガスのパイプラインが陸、海、空に次ぐ第4の道として張り

巡らされている。中央アジア・コーカサスは3000年前と同様に今も周辺地域に開かれた世界であり、同時に国際政治の焦点である。

日本政府は中央アジア・コーカサス諸国の独立後、対「シルクロード地域」外交の下で、これら諸国や隣接のアフガニスタンなどで空港、鉄道駅、道路などの建設を支援し、「政治的野心のない」協力として高い評価を得てきた。さる6月30日麻生総理(当時)は「安全と繁栄を確保する日本外交」と題する講演の中で「ユーラシア・クロスロード構想」+現代版「シルクロード構想」を発表した。「南北の物流路」すなわち中央アジアからアフガニスタンを経てアラビア海に至るルートの道路や鉄道の整備と「東西回廊」すなわち中央アジアからコーカサスを経て欧州に至るルートのカスピ海沿岸の港湾整備などを想定した気宇壮大なものである。

3 黒テンの道とシベリア鉄道

16世紀以降帝政ロシアがコサックを先頭にシベリア征服を進めた初期の目的は、当時ヨーロッパ各国でもはやされた黒テンなど毛皮の獲得であった。かくして草原の道のさらに北に黒テンの道(セープルロード)が通じた。やがて、正規ロシア軍、農民、流刑囚が送り込まれ、シベリアの開発が進んだ。1891年に着工、1904年に完成したシベリア鉄道(モスクワ-ウラジオストク間全長:9,288km)は、欧亜を結ぶ大動脈となった。



カスピ海に立つ石油リグ
Oil rig in Caspian Sea

シベリアは石油、天然ガス、石炭、ダイヤモンド等豊かな資源を持つが、ソ連崩壊後、中央政府の支援が十分及ばず、「見捨てられた地」になり、人口も流出した。シベリア鉄道は、ソ連時代に人為的に低く抑えられていたコストが高騰、サービスも低下して輸送量は激減、欧亜輸送の主役の座を海上輸送に奪われたが、ロシアが政治的、経済的に安定するにつれ、21世紀に入り息を吹き返した。2007年以降、ロシア政府は新たな「極東・ザバイカル経済社会発展連邦目的プログラム」を開始した。

サハリンからペルシア湾まで、日本企業は様々なプロジェクトに参加している。鳩山政権はいかなるユーラシア政策を進めるのか? 国際的に注目されるだろう。

The biggest threat for ships and tankers enroute the Sea Road these days is pirates linked with the Islamic radical terrorist organizations. While piracy in the Straits of Malacca has declined since 2003, the number of

展覧会・イベントのご案内

cases in the Somalian waters is sharply growing. The Japanese Government dispatched two destroyers of the JMSDF last March to the region, thus joining the international efforts to suppress acts of piracy.

The countries of the Steppe route and the Oasis route are being linked with the other parts of Eurasia by the Trans-Asian Railway (TAR) Project of the United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific (UNESCAP) to create an integrated freight railway network across Europe and Asia and the Transport Corridor Europe-Caucasus-Asia (TRACECA), an international transport programme involving the European Union and fourteen member states of the Eastern European, Caucasian and Central Asian region as well as by pipelines of petroleum and natural gas.

Taro Aso, then- Prime Minister of Japan, in his speech entitled “Japan's

Diplomacy: Ensuring Security and Prosperity” delivered on 30 June 2009, introduced his new Initiative for a Eurasian Crossroads Running. There, for the “North-South Logistics and Distribution Route,” a route that will run from Central Asia through Afghanistan to the Arabian Sea, Aso envisions the development of both roads and railways, and for the “East-West Corridor,” a route running from Central Asia through the Caucasus to Europe, he envisions developing ports on the coast of the Caspian Sea, among other ideas.

Siberia, where the Sable Road once ran, is extraordinarily rich in natural resources including petroleum, natural gas and diamonds. The Trans-Siberian Railway route once stagnated after the collapse of USSR came back to life in this century. In 2007 the Russian Government launched the new Federal purpose-oriented programme for the economic and social development of the Far East and Zabaikalsky (Trans-Baikal) Territory.

Japanese companies are participating in various projects from Sakhalin to the Persian Gulf. What kind of Eurasian policy will the Hatoyama government pursue? It draws an international attention.

(アジア・太平洋国会議員連合中央事務局事務総長 Secretary-General, the Central Secretariat of Asian-Pacific Parliamentarians' Union)

写真提供：筆者 Photographs by the author



シベリア鉄道の終点ウラジオストク駅
モスクワまで9,288km記念碑の前で
The marker for kilometer 9,288 at the end of the Trans-Siberian line in Vladivostok

特別公開 口琴の広がり Sound Landscape of EurAsia

この展示は、日本口琴協会代表の直川礼緒氏が収集した世界各地の口琴約100点を一挙に公開する、大変珍しい内容です。口琴は、現在の日本ではあまり見かけない楽器ですが、実は、ユーラシアに広く分布しています。口にくわえ、指で振動弁を弾くと「びよ〜ん」とユーモラスな音が出ます。日本では、平安時代の鉄口琴の出土例があり、また、1820年代の江戸では、幕府に禁止されるほど大流行したという記録もあります。展示されている世界各地の口琴は、材質、形状、装飾、演奏方法などが多種多様ですが、その全てから、人々の遊び心や口琴への深い愛着が伝わってきます。

2階常設展示室で2010年1月11日まで開催中。

Now on view on the second floor is a collection of Jew's harps owned by Leo Tadagawa of Japan Jew's Harp Association. Representing many different cultures of Eurasia, these Jew's harps vary in material, shape, decoration, and the way they are played, but they all bespeak the enthusiasm of the makers and players.

(福原庸子 Yasuko Fukuhara)



■ 開港150周年記念 特別公開 Featured Exhibit

口琴の広がり —Sound Landscape of EurAsia—

協力 さいたま市教育委員会、日本口琴協会

2009年6月2日(火)～2010年1月11日(月・祝) Tuesday, Jun. 2, 2009 to Monday, Jan. 11, 2010

観覧料 Admission: 一般 Adult ¥200

小・中学生 Primary and Junior High School Student ¥100

■ 開港150周年記念 企画展 Special Exhibition

ユーラシア3000年 海と陸のシルクロード

EurAsia: Traces of Cultural Interactions by Land and Sea

2009年9月19日(土)～2010年1月11日(月・祝) Saturday, Sept. 19, 2009 to Monday, Jan. 11, 2010

観覧料 Admission: 一般 Adult ¥500

小・中学生 Primary and Junior High School Student ¥250

◆ ワークショップ Workshop

古代の技法を体験！ Try Stamped Coin and Millefiori Techniques in Clay!

コイン作り、ガラスのモザイク技法を粘土で体験してみよう！

2010年1月11日までの毎週日曜日 Every Sunday through Jan. 11, 2010 15:00-16:30

参加費 Admission: ¥500 (材料費を含む)

◆ ギャラリートーク Gallery Talk (in Japanese)

2010年1月11日までの毎週土曜日 Every Saturday through Jan. 11, 2010 15:00-15:30

参加費：無料(ただし入館券が必要です。) Free with the museum admission